



坂東忠彦実行委員長

委員長に **坂東** 先生

事務局長に **大山** 先生

学童疎開記念事業スタート

三月二日に教職員互助会館「とどろき」で開催された第一回の実行委員会には、総計六十七名の実行委員予定者（今後さらに増加の予定）のうち四十名が出席しました。

各団体の代表者をはじめとして、四十年前の学童疎開ですから、当時の先生と児童が久しぶりで顔を合わせる和気あいあいとした雰囲気の中で協議がすすめられました。

坂東実行委員長のあいさつのあと、大山事務局長より経過報告と組織構成の提案、さらに、三つの事業についての具体的提起が行われました。

三委員会を推進

実行委員のうちの数名ずつをもって三つの専門的な委員会を構成し、事業を具体化して行き、それを川教組の事務局が組織の力を背景に支えていきます。

① 記念碑の建設 — 学童男女二体のブロンズ像を依頼する。礎石に



大山正幸事務局長

は記念誌の名前と同じ言葉で、伊藤市長の文字で刻印し、裏面に実行委員会による説明文をのせる。

② 記念誌の発行 — 二十四校の疎開の実態がわかるとともに、当時の引率教員や引率された児童より感想文を募集して編集する。一般募集も歓迎し、写真等も広く呼びかけて寄せて

もらう。体裁、装丁等については編集委員会で検討するが、川崎教文研の図書発行事業との関連も考える。

③ 寄付金の募集

総額一〇〇〇万のうち五〇〇万を目標とする（さらにそのうち一〇〇万程度は川崎教文研より補助）

一口一〇〇〇円とするが対象に応じて柔軟に。引率教員や疎開児童は代表委員が呼びかける、現職の教職員は各団体で。P T



具体的事業を検討するOBの方々 現職の方々

積極的に応えよう

A組織、退職者の会や賛同団体はそれぞれに。一般市民は銀行口座等で。

今後記念誌編集を早めにつつ三つの事業を具体化していきます。川教組として任う内容は組織を上げて支援していきたいと思えます。分会、学校、OB、父母への呼びかけに大きく応え、平和の礎（いしずえ）を確立しましょう。

実行委員会の構成

実行委員長	坂東忠彦	O	B
実行副委員長	中條迪夫	小学校長	会長
"	篠田卓夫	中学校長	会長
"	府川宏	高校校長	会長
"	冬木祐道	川管組委員長	委員長
"	森山定雄	川教組委員長	委員長
"	深堀義孝	市労連委員長	委員長
"	中山茂樹	市教委	総務部長
事務局 局長	小林正一	市 P	O
事務局 次長	大山正幸	O	B
"	宮崎和子	O	B
"	川辺次郎	教	"
"	菅原敬益	"	"
"	神田弘	"	"
委員 (記念碑建設委員長)	和田弘	O	B
委員 (記念誌編集委員長)	大橋美夫	O	B
委員 (会計委員長)	杉山智男	O	B
学校代表委員	24の国民学校について、引率教員と児童の代表を、1人ずつ以上位置づけます。		
会計	内田信之	川教組	
	桑畑祥生		